

宇商発第649号
令和7(2025)年10月8日

宇都宮市長
佐藤 栄一 様

宇都宮商工会議所
会 頭 藤 井 昌



令和8(2026)年度予算化及び措置要望について

平素は、宇都宮商工会議所の事業推進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は、今年に入って物価上昇が継続していることからデフレ脱却の直面に近づきつつあり、経済の好循環を実現する好機を迎えております。

一方、市内企業においては、深刻な人手不足、原材料やエネルギー価格の高騰、金利上昇等の多くの課題に直面しています。また、今般の米国における関税措置により、国内外の経済や金融市場への悪影響が懸念されております。

このような厳しい状況に対応しながら、企業が労働生産性及び付加価値の両方の向上を目指して成長するためには、企業の自己変革の努力に対する行政からの支援の継続と拡大が求められています。また、地域に人と投資を呼び込むため、官民の適切な役割分担の下で、民間の創意工夫と地域の特色を生かした取り組みを喚起していくことが極めて重要です。

宇都宮市においては、「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』」の実現に向けて、着実に前進しております。LRTを軸とする地域公共交通網整備や企業誘致、行政投資等による人と投資を呼び込む産業の育成、そして観光及びスポーツの振興、中心市街地活性化、歴史・文化の継承等を通じ、夢や希望がかなうまちづくりに向けた取り組みの継続をお願い申し上げます。

宇都宮商工会議所では、第6期中期事業計画に基づき市内企業の支援に取り組んでおりますが、実効性を高めるためには行政との連携及び協力が不可欠であります。つきましては、宇都宮市令和8(2026)年度予算化及び施策の実施に当たり、別添のとおり要望しますので、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

宇商発第650号
令和7(2025)年10月8日

宇都宮市議会
議長 塚田 典功 様

宇都宮商工会議所
会 頭 藤井 昌



令和8(2026)年度予算化及び措置要望について

平素は、宇都宮商工会議所の事業推進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は、今年に入って物価上昇が継続していることからデフレ脱却の直面に近づきつつあり、経済の好循環を実現する好機を迎えております。

一方、市内企業においては、深刻な人手不足、原材料やエネルギー価格の高騰、金利上昇等の多くの課題に直面しています。また、今般の米国における関税措置により、国内外の経済や金融市場への悪影響が懸念されております。

このような厳しい状況に対応しながら、企業が労働生産性及び付加価値の両方の向上を目指して成長するためには、企業の自己変革の努力に対する行政からの支援の継続と拡大が求められています。また、地域に人と投資を呼び込むため、官民の適切な役割分担の下で、民間の創意工夫と地域の特色を生かした取り組みを喚起していくことが極めて重要です。

宇都宮市においては、「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』」の実現に向けて、着実に前進しております。LRTを軸とする地域公共交通網整備や企業誘致、行政投資等による人と投資を呼び込む産業の育成、そして観光及びスポーツの振興、中心市街地活性化、歴史・文化の継承等を通じ、夢や希望がかなうまちづくりに向けた取り組みの継続をお願い申し上げます。

宇都宮商工会議所では、第6期中期事業計画に基づき市内企業の支援に取り組んでおりますが、実効性を高めるためには行政との連携及び協力が不可欠であります。つきましては、宇都宮市令和8(2026)年度予算化及び施策の実施に当たり、別添のとおり要望しますので、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

令和 8（2026）年度 予算化及び措置要望

令和 7（2025）年 1 0 月

 宇都宮商工会議所

目 次

I 企業活力の強化について

- 1 中小企業等における人材の確保について（拡充）・・・・・・・・・・ 2
- 2 行政投資の地域企業への優先発注及び取引適正化について（拡充）・・・・・・ 2
- 3 カーボンニュートラルの実現に向けた企業の取り組み支援について（拡充）
・・・・・・・・・・ 3

II 地域経済の活性化について

- 1 観光振興について（拡充）・・・・・・・・・・ 4
- 2 スポーツによるまちづくりについて（継続）・・・・・・・・・・ 4
- 3 宇都宮北西部地域の振興について（拡充）・・・・・・・・・・ 5
- 4 企業誘致、移住・定住の促進について（継続）・・・・・・・・・・ 5
- 5 友好都市との経済交流について（継続）・・・・・・・・・・ 6

III 夢あるまちづくりについて

- 1 LRTのJR宇都宮駅西側延伸について（拡充）・・・・・・・・・・ 7
- 2 中心市街地活性化について（拡充）・・・・・・・・・・ 7
- 3 MICE等の催事誘致とアフターコンベンションの充実強化について（拡充）
・・・・・・・・・・ 8
- 4 市内商店街への支援強化について（拡充）・・・・・・・・・・ 8
- 5 歴史・文化を大切にするまちづくりについて（拡充）・・・・・・・・・・ 8

I 企業活力の強化について

1 中小企業等における人材の確保について（拡充）

地域経済の中核を担う中小・小規模事業者は、人手不足が顕著化しており、人材確保や人材育成が大きな課題となっています。

昨年6月、国においては、人手不足の産業分野を支えるため、就労を通して外国人人材を育成する育成就労制度が創設され、令和9年6月までに施行される予定です。

本市においては、企業の人材確保を支援するため、人口減少・少子化対策、若者の地元定着、女性・高齢者の就業促進及び障がい者の就労支援、移住・定住の促進など、さまざまな事業に取り組んでおりますが、今後さらに、企業経営の中核となる人材の確保及び人材育成の充実が図れるよう、次の事項について要望します。

- (1) 産学官連携によるU I J ターン就職への支援策の強化、並びに市内大学生や高校生等の地元企業への就職促進
- (2) 外国人労働者が安心して働ける生活環境・コミュニティづくりのため、市内企業が取り組む外国人労働者の受入態勢整備に係る補助制度の創設
- (3) 従業員の教育・リスクリング費用の補助対象化（宇都宮市I Tパスポート取得支援補助金の拡充含む）や外部人材の活用に係る費用に対する補助制度の創設

2 行政投資の地域企業への優先発注及び取引適正化について（拡充）

原材料・エネルギー価格や人件費の高騰等により、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。中小企業は地域経済や雇用の担い手であることを踏まえ、地域企業がさらに発展していくためには、より一層の受注拡大とともに、労働者の賃金上昇をはじめ働く環境の向上に向けた取組が極めて重要であり、そのためには行政投資においても物価動向等を適切に把握し、発注価格に反映することが必要であります。

については、大型公共投資の積極的な実施とともに、市内事業者の一層の受注機会の拡大を図り、宇都宮地域における経済の好循環を促進するよう、次の事項を要望します。

- (1) 安全安心なまちづくりに欠かせない地元建設業界の活性化に向けて、大型公共投資の積極的な実施及び公共工事の優先発注、年間を通じた発注平準化
- (2) 建設工事以外の請負契約においても、市内事業者への優先発注とともに、物価動向に対する十分な理解に基づき実勢に沿った適正価格での発注

- (3) 「パートナーシップ構築宣言」を行った事業者に対して、入札制度における加点や優先発注等のインセンティブの付与

3 カーボンニュートラルの実現に向けた企業の取組支援について (拡充)

本市は、2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しています。

脱炭素化をきっかけに、次世代の大きな成長へとつなげるイノベーションを促す投資を促進することによって、産業競争力の強化、新産業の成長を支援し、環境にやさしい都市基盤（NCC）と新たな雇用創出など経済と環境の好循環を構築することは、本市の将来像の具現化のためには不可欠なものです。

最近では、各企業とも、「カーボンニュートラルの実現」に向け様々な取り組みを始めており、それに伴う「課題」も見えてきております。

このため、中小企業等が積極的に取り組みを行い、より「ゼロカーボンシティ」に向けた機運の醸成が図れるよう、次の事項を要望します。

- (1) サステイナブルファイナンスの組成に係る費用補助
- (2) 各企業におけるカーボンニュートラルを推進する「人材・ノウハウ不足」を支援する、講習会や専門家相談等のさらなる普及・推進
- (3) インセンティブとなる補助金の拡充や表彰制度の実施

II 地域経済の活性化について

1 観光振興について（拡充）

令和6年の訪日外国人客数は約3,687万人と過去最高を記録し、円安を追い風にインバウンド需要は高まり続けています。また、本市の観光客入込数は、宇都宮餃子を目的とした来訪やライトライン開業の影響もあり、1,573.6万人と過去最高を記録しました。

令和7年度も本市では、ふるさと宮まつり、宇都宮餃子まつりなどのビッグイベントが開催されます。

これらを国内外の観光・ビジネス客を呼び込む絶好の機会と捉えて、新たな観光需要の創出に戦略的に取り組むことが、観光産業の回復と持続的発展に繋がります。このため、次の事項を要望します。

- (1) 外国人観光客を増やすため、O y aやG y o z a（英語表記）等の多用やインフルエンサーと連携したデジタルの活用により、訪日前に知り得る宇都宮の魅力や情報の発信と拡散
- (2) 餃子通りや大谷地域など来訪者の利便性向上を図るため、日本人・外国人を問わず無料で利用できる公衆無線LAN（フリーWi-Fi）の面的整備と分かりやすい表示
- (3) 北海道新幹線の札幌延伸や（仮称）羽田空港アクセス線開通を見据え、北海道行き新幹線の宇都宮駅停車や、乗換不要の羽田空港行き直通列車の設定等について、関係機関への要望など取組方法の検討

2 スポーツによるまちづくりについて（継続）

スポーツには、心身の健康増進だけでなく、市内外から多くの人々を誘引する力があり、スポーツイベントに合わせて、消費喚起イベントや観光をはじめとしたPRを同時に行うことによる地域経済や地域コミュニティの活性化、スポーツ人口・交流人口の増加など、様々な可能性を有しています。

特に昨シーズンは、宇都宮ブルックスが3季ぶり3度目のBリーグチャンピオンとなり、優勝パレードでは市内外のファン5万人を集めるとともにスポンサー企業等による優勝記念セールが繰り広げられるなど、多くの経済効果が生まれました。

また、3つのプロスポーツに加え、市内に活動拠点を移すことを決定したラグビーチーム「ホンダヒート」や、アーバンスポーツを核とする「東部総合公園」の開園は、スポーツ関係人口の拡大やシビックプライドの更なる醸成が期待されることから、次の事項を要望します。

- (1) 中心市街地におけるプロスポーツ情報発信拠点の整備
- (2) 各プロスポーツチームの主体性を尊重しながら、行政としての連携・支援の継続
- (3) スポーツイベントやホームゲーム開催時の中心市街地誘導や観光情報の発信

3 宇都宮北西部地域の振興について（拡充）

宇都宮北西部地域は、大谷地区をはじめ、道の駅、動物園、民間農場などの地域資源を有する本市の観光拠点として大きな役割を担っております。

近年、同地域の方々によって、農産物等の特産品など新たな魅力が加わりつつありますが、引き続き官民連携による交流人口拡大や地域振興を図る必要があることから、大谷観光周遊拠点施設「大谷コネクト」をはじめとして、地域資源を最大限に利活用した観光振興を今後も力強く推進するため、次の事項を要望します。

- (1) 高速道路で来訪される玄関口となり、本市の観光及び中心市街地の活性化に大きく貢献する（仮称）大谷スマートインターチェンジの着実な整備
- (2) 民間が主導する地域の賑わい創出に向けた、大谷地区への出店費用や新たなコンテンツの造成などの支援

4 企業誘致、移住・定住の促進について（継続）

コロナ禍以降のリモートワークの普及やライフスタイルの多様化、居住地の災害リスクの回避等に伴い、東京をはじめとした大都市圏から地方への企業移転や従業員等の移住が見られます。

企業や移住・定住者の増加は、地域経済の発展につながることから、企業誘致の充実や更なる移住・定住の促進に取り組んでいただくよう、次の事項を要望します。

- (1) 市内進出を希望する企業やビジネスを拡大する地域企業の受け皿となるよう、新たに選定された2つの産業団地（候補）の着実な整備
- (2) 若者や女性の雇用促進及び移住定住者の増加につながるよう、東京圏から本市への企業（本社機能、研究開発機能等）の誘致

5 友好都市との経済交流について（継続）

本市と沖縄県うるま市は、友好都市として、お互いの地域経済の発展や地域振興などの地域力を向上させることを目的に交流を進めております。

今後、お互いの特産品等をPRする機会を設けることなどが予定されており、より市内事業者のビジネスチャンスが拡大するよう、次の事項を要望します。

- (1) 市内企業がうるま市で特産品等をPRするため、催事等の参加に係る補助金の創設

Ⅲ 夢あるまちづくりについて

1 LRTのJR宇都宮駅西側延伸について（拡充）

LRTのJR宇都宮駅西側延伸については、「ライトラインは西へ」などのキャッチフレーズや延伸後のイメージ図が発表され、具体的な将来像が提供されることにより、駅西側のまちづくりに対して市民の期待が高まっています。

JR宇都宮駅西側における官民一体となったまちづくりをより一層進めるため、次の事項を要望します。

- (1) LRT駅西側延伸の早期着工
- (2) 西側延伸に伴う迂回道路（都心環状線、内環状線等）や駅西口周辺道路の交通環境の整備

2 中心市街地活性化について（拡充）

県都の顔でもある宇都宮市の中心部は、市内居住者のみならず、ビジネスや観光など多様な目的で来街する「お客様」のニーズにも対応できる魅力的なエリアであることが期待されています。

しかし、近年は、郊外への人口流出や大型商業施設の出店、JR宇都宮駅周辺と旧来の中心市街地との二極化・回遊性欠如、建物等老朽化等の課題も生じており、今後は、民間と行政が一層連携を図ることで、中心市街地を変革していく必要があります。

一方、現在、市はLRTの駅西側延伸を軸として、都心部はウォーカブルなまちに、駅西口周辺部はヒト・モノ・情報が交わるエリアに、特異な景観や歴史的遺産を持つ大谷周辺地域は観光拠点として再整備しようとしています。これらの実現にあたっては、市民や事業者の理解促進が不可欠であり、関係者との調整にも相当な時間を要すると推測されますが、本市が次代においても北関東随一の都市として輝き、栃木県の発展をリードできるよう、次の事項を要望します。

- (1) 「歩いて楽しいまちづくり」の市民理解の促進及び来街することで愉しめる街の魅力の造成、八幡山公園や県が整備する「『文化と知』の創造拠点」など地域資源の活用・連携（中心部とのつながり・誘導）
- (2) 趣や潤い、にぎわいを感じられる田川・宮の橋周辺の整備（宇都宮駅西口周辺地区整備と連動し、地域住民・事業者や県と連携した街路照明、街路樹、散策路等の整備）
- (3) 若者が中心市街地で出店しやすくなるような支援策の検討
- (4) 車なしでも来街者の回遊や滞在長時間化を促すため、サイト等による広報周知

3 MICE等の催事誘致とアフターコンベンションの充実強化について（拡充）

北関東初の会議中心型コンベンションセンターであるライトキューブ宇都宮（宇都宮駅東口交流拠点施設）は、今や本市の発展に欠かせない重要施設であります。

昨年は、会議や学会のほか、とちぎeスポーツフェスタ2024の会場に使用されるなど国内外にも情報発信され大きな話題となりました。

つきましては、MICEの連携強化は、ビジネスイベントの誘致と開催を促進し、地域経済の活性化に繋げるための重要な取り組みであることから、次の事項を要望します。

- (1) 国際会議などの宿泊ニーズを満たすハイブランドなホテルの誘致
- (2) 県や周辺自治体、市内事業者等との連携による観光資源（ジャズ、カクテル、餃子）を活用したアフターコンベンションのパッケージ化

4 市内商店街への支援強化について（拡充）

本市内の商店街は、コミュニティの一員として、地域に密着したサービスを展開してきましたが、近年は、店舗等施設の老朽化、インターネット通販や大型量販店との競合等、様々な要因から商店街会員が減少傾向にあり、特に郊外の商店街は深刻さが増しています。

こうした状況下において、ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）の推進にあたり、商店街振興への積極的な取り組みを後押しできるよう、次の事項を要望します。

- (1) 街路灯保守管理に係る商店街負担の軽減
- (2) 魅力ある商店街等支援事業の補助金拡充
- (3) 商店街が行う安全安心に資する取組に対する継続的な支援（オリオン通り等）

5 歴史・文化を大切にすまちづくりについて（拡充）

本市は、かつては二荒山神社の門前町・宇都宮城の城下町として栄え、農村部に残る天棚・屋台等の民俗が継承されているなど多様な文化が根付いており、さらに現在においては、市美術館や文化会館など質の高い芸術に触れる機会や、芸術家・漫画家を輩出する学校なども存在しています。

本市では、「歴史文化基本構想」により、歴史文化資源を総合的に保存・活用するための考え方や方針がまとめられ、将来にわたり、地域固有の歴史文化を守るとともに、これらを生かした人づくりやまちづくりの取組が進められております。

また、本市においては平成13年度から、芸術の創造活動が特に顕著で、今後の活躍が期待できる芸術家に対して宇都宮エスペール賞を授与するなど、育成・支援を通じた芸術文化の振興に取り組まれています。次世代アーティスト育成・輩出の視点から、餃子通りの「GYOZAモニュメント」のように、本市に立地する美術系大学や専門学校で学ぶ学生がまちづくりにも積極的に関わっていただくことも重要だと考えます。

つきましては、子どもからお年寄りまで郷土の歴史に親しみを深め、また、文化や芸術を活かした地域活性化やシビックプライドの醸成、さらには様々な産業の振興が図られるよう、次の事項を要望します。

- (1) 貴重な歴史文化資源である山車・屋台等の後世に引き継げる展示保存と観光資源としての有効活用
- (2) 宇都宮の歴史・文化を身近に感じながら街歩きができるよう、スマートフォンを活用したAR（拡張現実）体験スポットの設置
- (3) 市が募集するデザイン・作画の地元美術大学、美術専門学校への優先案内や創作活動の発表機会の提供を通じた次世代アーティストの育成・輩出支援